

ヒュー・メックス通信

vol.
02



「看護師が行うエンゼルケア」

復元納棺師 笹原留似子

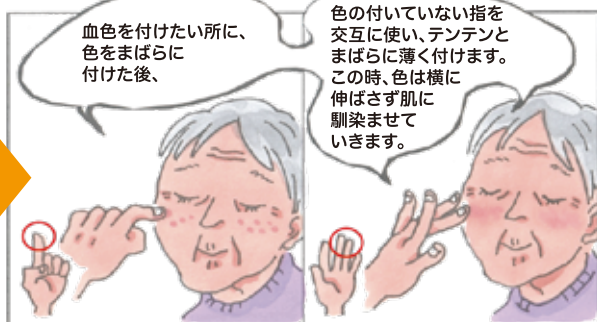


第2回 血色について ~大人編~

大人の方の血色付け

人は死後、多くの場合時間の経過と共に血色が下方へ落ちることで血色を失います。

成功例



肌の色と、血色の色の境目がはっきりしていると不自然！境目をぼかし、自然な血色に仕上げましょう。



ご家族は様々な角度から、ご本人を確認します。不自然な箇所がないか、最終チェックをしましょう。



失敗例



色を横に伸ばすと、お化粧の仕上がりになります。又、色を「塗る」と肌の表面だけに色が付くので、取れやすい！



同じ指でつけると、色が薄まらずに均一の色になってしまいます。



化粧が取れるから触っちゃ駄目だぞ



色を伸ばし上げたため、お化粧のように見えてしまい、又、色が肌に馴染んでいないので、ベタツと付けたように見えてしまいます。

応用編

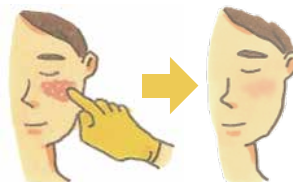
死後、顔の赤みが強く出現する方もいらっしゃいます。その場合は、下記の方法で自然な血色を表現することが可能です。

1



メモリーシオンのライトクリームファンデーション①とダーククリームファンデーション②を混ぜ合わせ、故人の肌の色を作ります。

2



1で混ぜ合わせた色を指先でテンテンとまばらに薄く付けていきます。色を付けることで、赤みをカバーできる他、肌の内側から自然に浮き出る血色を表現できます。

3



唇も同様に赤みが強い場合は、1で混ぜ合わせた色をテンテンと薄く付けることで、赤みが落ち着きます。その際、唇と肌の境目にも色を付け、境目をぼかすことで自然な唇に仕上がります。

ヒュー・メックス News!

2019年度の出展展示会。展示ブースに来ていただいた皆様ありがとうございました。

4月20日

第13回旭川感染管理ネットワーク研修会／旭川トーヨーホテル

8月31日

日本緩和医療学会 第2回中国・四国支部学術大会／広島コンベンションホール

6月15日～16日

第15回日本クリティカルケア看護学会学術集会／別府国際コンベンションセンターB-Con plaza

10月4日～5日

第21回日本救急看護学会学術集会／幕張メッセ国際会議場

6月21日～22日

第24回日本緩和医療学会学術大会／パシフィコ横浜

「参加型納棺のはじまり」

参加型納棺とは、ご遺族を参加させるとか、ご遺族に参加してもらったとか、そういう納棺と思われがちですが、実はそうではありません。

今から15年ほど前のこと。私は、新人の納棺師でしたが、いつも通り忙しく納棺の現場に回っていました。当時の一日の平均件数は、九件。一件、30分ほどで終わらせて次の現場へ車で移動という毎日を過ごしていました。

そんなある日、その日の最後の納棺のため、故人が安置されているご自宅へ到着しました。

道具を持ち、ご挨拶を終え、故人が安置されている奥のお部屋へ通されました。

お布団の横で準備をして、お顔に当たっている白い顔当てを取りました。その時、息を呑みました。私と同じくらいの歳の女性でした。故人のお顔を確認し、お部屋の中を見渡すと、小学校低学年くらいの男の子がいました。隣には、お父さんらしき男性が居て、「ご主人ですか？」と伺うと「はい。」と答えが返ってきて、「お隣の子は、お子さんですか？」と伺うと「はい。」と答えが返ってきました。ということは、この方(故人)のお子さんであるということが確定しました。



子どもたちと納棺を行いたい！

それまで私が行ってきた納棺は、特にご遺族とお話しをすることもなく、納棺中に鈴(りん)を鳴らし続けていただき、儀式として進め、ご遺族の参加もなく納棺師が一人で静かに滞りなく執り行うものでした。

それっていいのかな...ふと、そう思いました。もう一度子どもたちを見ると、お母さんの死を理解できていないことがその表情から読み取ることが出来ました。とても悩んだ結果、私はその家の菩提寺に電話を入

れ、「お母さんが急死して亡くなったことを理解できていないようで、納棺を子どもたちに行いたいと考えており、私も初めてのことで納棺経の時間まで終われない可能性がありますが、如何致しましょうか。」と相談をさせていただきました。菩提寺のご住職は、時間は気にしないで良いよと、早めにご自宅にお参りに行くので、心配はいらないから存分に納棺を行なって良いと、ご指示をいただきました。

集まってきた方々に事情を説明し、皆さんも賛成してくださって、部屋の隅にいた子どもたちを声を掛けて、迎えに行き、一緒にお母さんの傍に座りました。

お兄ちゃんは私の隣に座り、お母さんに話しかけながら着付けを手伝ってくれました。もう終盤の頃、「ごんなに話しかけても、返事をしてくれない！」とお母さんに覆い被さり泣き始めました。私は彼の背中をさすりながら、落ち着くまで待ちました。

故人の実母のおばあちゃんが「お母さんもね、あなたたちを置いていきたくて、置いて逝った訳ではないんだよ。どんなに辛かったらうね。」そう言いながら、おばあちゃんはお母さんのお顔を撫で始めました。実の娘さんの急死は、どれほど辛かったでしょう。それでもお孫さんのお手伝いを、たくさんしてくれました。

スタートの段階で処置後、故人の表情はマッサージにより穏やかに、微笑みになっており、ノーメイクで仕上げていました。

お母さんをぼくの手で きれいにしてあげる

「ぼく、お母さんのこと、ピカピカにきれいにしてあげるんだ！」

彼はそう言って、お母さんにたくさん触れていました。お母さんのお料理がとても美味しいこと、お片付けをしないで怒られたこと、宿題が終わったたくさん褒めてくれること、腕相撲が強いこと、お掃除が少し苦手なこと、いつもの生活の様子を、時々顔を上げながら目に涙をいっぱい溜めて教えてくれました。

お母さんのお化粧は、おばあちゃんが彼と一緒にやってくれて、口紅がはみ出してしまった時、彼はククッと笑っていました。おばあちゃんも一緒に笑っていて、「はみ出した口紅は、直さずにこのままがいいね。お母さん、きつと喜んでるからね。」とポロポロと涙を流しながら決めておられました。彼は嬉しそうに大きくうなづいていました。

納棺が終わる、玄関で靴を履いていると彼が走って来て、私の上着のスーツの裾を引っ張り張りました。「帰っ

ちゃうの？」彼の言葉に対して返事をする私は号泣しそうだったので、彼の顔を撫でるのがやっとでした。そこへご住職が到着され、私の様子を見て察してくださり彼を抱き、「後は大丈夫ですよ。」と声を掛けてくださって、私もうなづくのがやっとでした。



死を迎えても変わらないもの

玄関の前には、彼の友達数名が自転車に乗って来ており、こう言いました。「お前の母さん、死んじゃったんだってな！かわいそう。」助け舟を出そうかと私が息を吸った時、彼が言いました。「ぼく、これからお母さんをたくさん応援したいじゃないんだ！だから、すごく忙しくなるよ！」それを聞いて友達が言いました。「僕たちも手伝うから！」

お母さんが一生懸命に育て、彼と向き合ってきた時



発行・企画・編集

株式会社ヒュー・メックス

〒733-0012
広島市西区中広町三丁目3-21

TEL 082-532-0361

FAX 082-295-6284

URL <http://www.hum.co.jp/>

ぼくからお母さんへ..

間が生き続けていることを、そして死は、全ての終わりを意味するものではないことを教えてもらいました。死を迎えても、親子の信頼関係は何一つ変わらなかったからです。

参加型納棺は、私たちが家族の大切な時間に参加させていただいているという意識を持ったもの。いつも伺う私の参加型納棺は、そのような納棺です。参加型納棺は、一件一件違います。参加型納棺に、ゴールはありません。それは、ご遺族自身にゴールがないからです。大切な家族の死を経験したご遺族は、亡き人に対する問いという宝物を胸に秘め、これから答えを探す旅が始まるからです。

彼がお母さんに書いた手紙は、棺の中に一緒に入れてお母さんの手に持たせて差し上げました。その手紙を添えて、今回の日記を締めたいと思います。

おかあさんへ

おかあさん ぼくは つよになりたい。
なにも ちが おかあさんは おかえりなさいね。
おかあさんが だいすきだから、
しばらくは 手伝いも しれないけれど
いつか つよ ならうと おもうよ。
おかあさんの 玉子 やきとハンバーグ
はもう たべられないけれど、
ぼくは おかあさんが 一人
旅に出ることを 助けたから、
いっしょうけんめい おうんします。
さみしいときは いつも ぼくのところに
かえり きてね。
おかあさんは ぼくが 100歳になっても
200歳になっても ずっと ぼくの おかあさんです。
だから ぼくの 心の中に ずっと 笑顔が
生きてほしい。
ときどき ゆめに出てきて 4ギョーしてね。
世界- だいすきな おかあさんへ